(4) 学校教育学部

② 教務関係

教務委員会における、運営・活動の状況や優れた点及び今後の検討課題等については下記のとおりである。

ア 運営・活動の状況

i) 委員会等の開催状況

令和5年度においては、教務委員会を16回開催した。

ii) 審議された主な事項

学部の教務に関する主な審議事項は、以下のとおりである。

- 1) 令和5年度卒業判定
- 2) 令和5年度転コース・領域判定及びコース・領域分け
- 3) 令和5年度学部1年次生及び3年次生の進級判定
- 4) 令和5年度前・後期学部成績の再評価
- 5) 既修得単位の認定
- 6) 令和5年度科目等履修生、特別聴講学生の受入れ等
- 7) 令和5年度学年暦
- 8) 令和5年度開設授業科目・授業時間割
- 9) 令和5年度非常勤講師担当授業科目
- 10) 令和6年度ティーチング・アシスタント等の実施計画
- 11) 令和6年度授業時間割の編成方針の整備
- 12) 令和6年度授業運営方針
- 13) 令和6年度副専攻プログラム受講者の選考
- 14) 大学院授業科目早期履修受講者の選考
- 15) 教務関係学内規則の制定・改廃

iii) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

副専攻プログラム（小学校英語副専攻プログラム及び小学校プログラミング・テクノロジー副専攻プログラム）の運用を行った。

また、大学院授業早期履修受講者の選出など早期履修制度の運用を行った。

最先端のオンライン教育に対応するため、講義棟301及び人文棟209のAV機器を整備した。

イ 優れた点及び今後の検討課題等

i) 優れた点

副専攻プログラム（小学校英語副専攻プログラム及び小学校プログラミング・テクノロジー副専攻プログラム）の運用を行った。

また、最先端のオンライン授業に対応するための設備充実を行った。

ii) 今後の検討課題

- ・ICT教育に係る授業科目への対応
- ・SDGs・STEAM教育に係る授業科目への対応
- ・現代的教育課題に係る授業科目への対応